

明日へのまつり
in板橋
 実行委員会ニュース
 2010. 1. 15
 03-3962-5942
 荒馬座

一月七日に第四回の実行委員会が開かれました。今回も「輝け離子」でウオーミングアップ。頭も身体も汗を掻くような太鼓になり、楽しい雰囲気です。新しい年を迎えてまつりの気分は高まるばかり。話し合いは当日を迎えるまでの宣伝、配券、集約、荒馬踊りの練習、担当確認などをしました。

配券・集約
 状況としてはこれからエンジンをかけていく状態です。チケットを預かってくれる人・団体を増やし、配券ペースを1000枚台に乗せました。細かい集約を次回実行委員会より突っ込んで行っていきます。

実行委員募集!
 荒馬座は地元「板橋」に支えられての歌舞団。共に作る仲間がもっと多く広がっていくことを願っています。実行委員会に参加しませんか? とともに太鼓を叩いてみるとますます公演が楽しくなります。まずは実行委員会の様子をのぞいてみて下さい。数枚でもチケットを預かって「明日へのまつり」を広げてくださるかたが増えたら板橋の元気がきつと広がります。

うまかった? 馬できた!
 もういくつ寝るとお正月... そんな歌が似合う昨年十二月二十七日(日)常盤台集会所にて有志が集まり荒馬踊り用の「馬」の製作が行わ

れました。前号の実行委員会ニュースを読んできてくれた方々は朝十時ごろから手にはミシン、裁縫道具、のこぎり、鍋、持参で集合。事前に用意してきた材料も思いのこもったものたち。美里から切り出してきた竹。苦労して割り、曲げられています。馬の周囲を覆う幕布はお古のシートを染めてきてくれたもの。大事な思いが伝わります。集会所内は約二十人体制。笑い声が沸き起こりながら手綱を編んだり、幕を縫ったり、馬のかしらを切り出したり。お腹が空いた頃には三船さんが温かいうどんを準備していてくれました。

それぞれが自分の仕事を見つけて作業をする姿に団結力を感じました。四時には馬五頭が無事完成! 当日の舞台がたのしみです



- 穴あけ
- 幕作り
- もうすぐ完成

「明日へのまつりin板橋」
 2010年2月14日(日)
 pm 6:00開場 6:30開演 (7:50終演予定)
成増アクトホール

明日へのまつり
 荒馬座の原点ともいえるおなじみの演目が並ぶ。厄除け・厄払いの獅子舞は健やかな成長を願う。再会の時に泣かなくなった子どもに成長を感じることも。荒馬踊りは応援の掛け声で客席と舞台が一体になる演目。厳しい労働を楽しむために生まれた芸能は観る人を元気にする。日本人の主食「ごはん」のような珠玉の演目の数々にご期待下さい!